

# 下枠養生材

# 取付け説明書

## ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

●下枠養生材は、必ず下枠の形状に合わせてカットしてください。漏水のおそれがあります。

## ■施工上のお願い

- アトモスII用、サーマルII・シンフォニー用があります。取付け製品に合わせてご使用ください。
- シャッター付枠・雨戸付枠に使用される場合は、別売りの養生テープを合わせてお使いください。
- 勝手口ドアには養生テープをご使用ください。
- 障子建て込み前(現場搬入時まで)に取り付けてください。
- キズの原因になりますので、必ず清掃してから取り付けてください。

## ■取付け手順

**1** 下枠の長さに合わせてカット、又は継ぎ足してください。

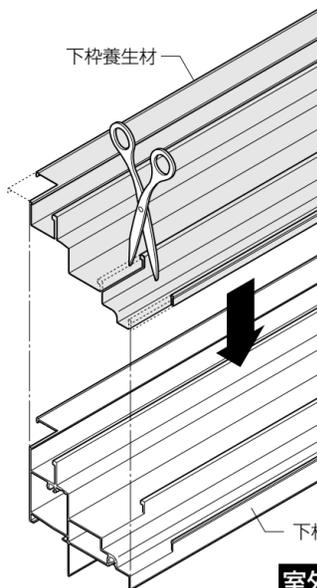
**2** 下枠養生材は、下枠両端のレール形状に合わせてはさみ、カッターで切ってください。

### ▲注意

●施工期間中の水密性保持のため、必ず実施してください。漏水の原因となります。

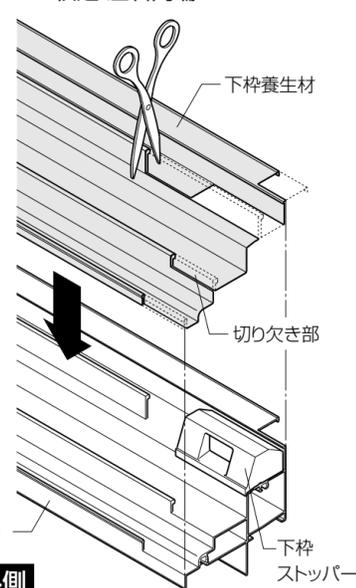
#### ■下枠ストッパー無し側

※2枚建:内観右側



#### ■下枠ストッパー側

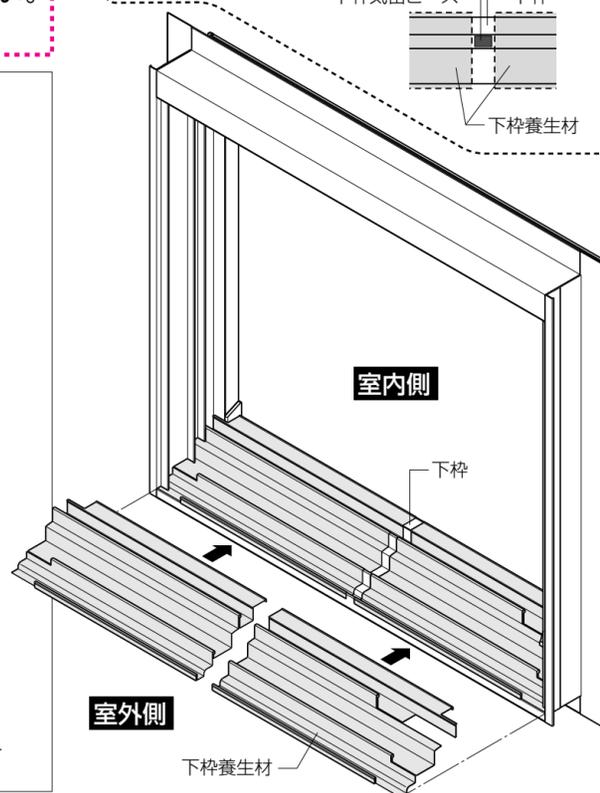
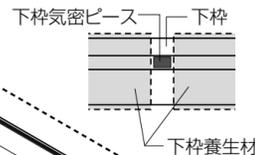
※2枚建:内観左側  
4枚建:左右両端



**3** 下枠養生材を取り付けてください。

※養生材を取り付けた状態でも工事期間中の障子の建て込み・施錠は可能です。

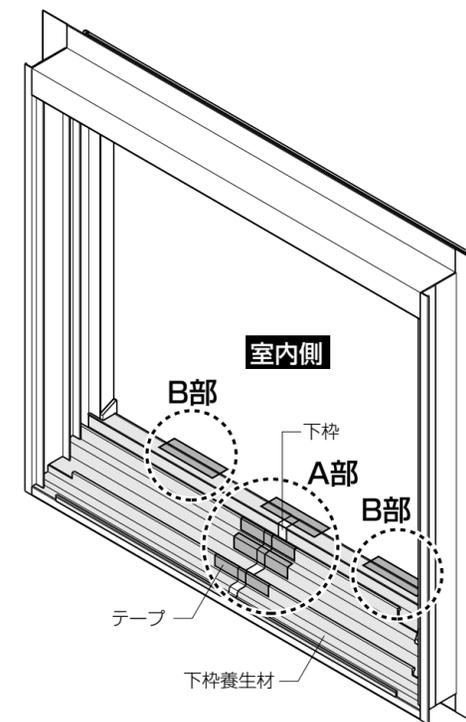
※サーマルII・シンフォニーの場合は、下図のように下枠気密ピースをさけて下枠養生材を取り付けてください。



**4** 養生材をテープ止めしてください。

※障子操作時に、養生材と障子が干渉しますので、テープ止めしてください。

- ①継ぎ足して使用する場合は、養生材のつなぎ目のレール部とアングル部をテープ等でつなぎ合わせてください。(下図A部)
- ②アングル部が浮いている場合は、テープ等で固定してください。(下図B部)



**5** 下枠養生材取付け後は、下記項目の確認をしてください。

- ①養生材のソリ等により下枠より浮いている場合は、障子操作時に当たりますのでテープ等で固定してください。また、浮いた透き間より砂等が入り、キズの原因となります。
- ②障子操作時に養生材の引っ掛かり等のある場合は、下枠養生材が外れるおそれがありますので戸車を調整してください。

**6** 下枠養生材は、施工完了後、お施主様引き渡し前に外し、サッシの最終調整をしてください。

※下枠養生材は障子を建て込んだ状態で取り外すことができます。(障子を片側に寄せ、下枠養生材を引き抜いてください。)